

いなさ園発

まづまタイムず

夏号 Vol.7

みせんの里発

第7号

平成21年7月

編集・発行

社会福祉法人きづき会

〒699-0751 出雲市大社町杵築西1643-2
特別養護老人ホームいなさ園

特別養護老人ホームみせんの里
〒699-0731 出雲市大社町遙場65-2

いなさ園・みせんの里 在宅特集号



ご自宅での介護をお手伝いします。

日頃は地域の皆様には、「いなさ園」、「みせんの里」として親しんで頂き誠にありがとうございます。それぞれ、いなさ園80名、みせんの里50名、合計130名の方がご入所され生活をされています。きづき会は、こうした入所サービス以外にもご自宅で生活をされている方々をご支援するサービス事業も展開しております。今回は、そうした在宅のサービスをご紹介します。利用のご希望、ご質問等があれば担当ケアマネジャーさんか、もしくはいなさ園（53-5727）、みせんの里（53-2007）へお問い合わせください。

デイサービス(通所介護) いなさ園 30名 みせんの里 25名



デイサービスでは、同じ年代の方と話しをしたり、レクリエーションを通して身体を動かし健康を維持します。およそ、9時過ぎにお迎えにあがりお食事と午睡をはさんで4時頃までデイサービスセンターで過ごしていただきます。様々な方にご利用いただいておりますが、デイサービスでは、それぞれのお体の状態に合わせたサービスを提供しております。入浴に配慮をしてほしい、食事を刻み食や、とろみをつけてほしい、カロリー計算をしてほしい、パンにしてほしいなど、全て対応いたします。また、天気の良いと霊山寺やエルなどいろいろなところへ出かけます。最近では、トンボ池の菖蒲まつり、大祭礼、まこも神事などに出かけました。そのほか、花を育てたり、壁飾りを作ったり創作にも意欲的です。また、この4月からリハビリ担当の看護師を増やしましたので個別リハビリも行う事が出来るようになりました。

訪問入浴 いなさ園訪問入浴 介護事業所

寝たきりになられた方をお風呂に入れてあげたいけど人手がなくてとか、風呂場が狭くてあきらめている方はいらっしゃいませんか。

訪問入浴はベッドの横に風呂桶を運び車からお湯を送ります。介護職員2名と看護師1名の3名で訪問します。自宅のお風呂に入れられない理由は問いません。肩まで温まってみませんか。心温まる話しも持って行きますよ。



ショートステイ(短期入所) いなさ園 10床 みせんの里 10床

ショートステイはご希望の期間お泊り頂くサービスです。ご利用の理由は様々で、介護者の方の不在期間の利用、介護疲れの解消とか、最近では、ご利用者自身から体調を整えたい、しばらく静かに過ごしたいなどと利用される方も多くなりました。

大社町の方が無理に遠くの施設を利用するのではなく地元で過ごす事ができますように、どのような身体状態であろうと、たくさんの方に快適に過ごして頂きたいと思っております。

ホームヘルパー(訪問介護) いなさ園ホーム ヘルプセンター

ヘルパーさんって、何をしてくれるの？なんていう質問を頂きます。そこで、ヘルパーの主な仕事をあげてみました。

- ①長時間、台所に立てないので簡単なものしか作れない、かぼちゃなど硬い物が切れなくなった。お店が遠くになって買い物に行けない。
…ヘルパーは調理や掃除（家事援助）など出来ないことを行います。必要に応じ、毎日ではなく、週1回でも月に数回でも訪問いたします。
- ②足腰が弱く自宅で風呂には入れない。家族も高齢だったり仕事をしていて出来ないけど…
…ヘルパーが訪問し、自宅のお風呂で入浴の介護（身体介護）を行います。狭くても段差があっても大丈夫です。
- ③家族が介護しているけど、排泄介助や身体をきれいにする事など、これでよいか不安があります。
…介護者の方が高齢であったり、お仕事をされながらであれば、介護者の方の健康も気になります。共倒れにならないようにヘルパーと一緒に介護をさせていただきます。また、介護技術の指導も行ないます。



訪問看護ステーション(訪問看護) いなさ園訪問看護 ステーション

看護師が医師の指示を受けご自宅を訪問しサービスを提供します。また、どのような身体状態でもご自宅で安心して療養出来るように24時間いつでも連絡が取れ、訪問できる体制をとっております。

血圧、脈拍、呼吸状態などお体の様子を観察する看護のほか、リハビリテーションの指導、医療的なリスクが高い方の入浴、散歩なども行います。寝たきりになれますと排便のリズムが狂いがちになり、体調が悪くなってしまいます。そうした排便のコントロールも行います。また、長らく自宅で生活をしていくには、ご家族の健康も大切なポイントです。ご家族の介護指導など相談も承ります。

昔のように、大家族でご家族を看ることが出来ない環境となり、地域で協力してケアをしていく時代になっていると思います。ご家族の方が元気で介護を続けられるためにも、上手に看護サービスやリハビリを利用され、ご負担を少しでも減らしていきましょう。

サービスはこうして始まりました。

サービスを利用するまで

大社太郎さんは、89歳です。自分のことは自分で行ない、毎日近所の散歩が日課でした。ある日風邪をこじらせ寝込んでしまいました。食事布団の上で、排泄も紙オムツを使用することになりました。熱は下がったのですが、立ち上がることが出来ず10日目を迎えました。介護は妻の花子さんが行なっていましたが花子さんも80歳をこえ、介護の負担感もだんだんと強くなってきました。

太郎さん一家は、長男一郎さん、嫁の美由紀さん、孫の高校2年生の啓太君の5人家族です。一郎さんご夫婦は共働きで介護に参加することはなかなか出来ません。孫の啓太君は高校2年生、太郎さんの薦めもあり弓道部に所属し毎日練習で遅い帰ります。

いなさ園への電話で始まりました

息子さん夫婦は仕事をやめるわけにもいかず、でもこれ以上お母さん（花子さん）に負担をかけることは忍びなく、思い切っていなさ園に電話をしてみました。電話を受けたケアマネジャーは早速訪問し、お話を伺い以下の事を行ないました。

- ①介護保険の申請をされていなかったため、本人、家族に代わり市役所に介護保険の申請を行ないました。（代行申請）
- ②ご本人、ご家族からお話を伺い、今までの経緯、今改善してほしいこと、今後やっていきたいことを整理しました。太郎さんは、まずはゆっくりと風呂につかりたいということと、こんな身体になって人様には見せられない、少しでもいいから健康な身体に戻りたいと少々落ち込んだ意見も聞かれました。でも、孫の試合にはぜひ応援にいてやりたいという強い希望もありました。息子さんからは介護がもう少し楽になればという意見もありました。

- ③主治医の先生に面会し、今の状況・希望をお伝えし、今後の注意すべき点などを伺いました。血圧が不安定なので医療的観察と早急にリハビリを行なう必要がある意見を頂きました。

早速ケアマネジャーは、いなさ園訪問入浴介護事業所といなさ園訪問看護ステーションに訪問の依頼を、A福祉用具専門店で、ベッドのレンタル搬入を依頼しました。



訪問看護による健康管理

その日の夕方、早速訪問看護師が訪問いたしました。ご本人は痛みを感じられなかったようですが、両肩と尾骨が、赤くはれ上がり床ずれの初期症状であることも分かりました。早速看護師による処置が行なわれました。また、排便がうまく出ていないこともあり、適切な処置を行いました。

久しぶりの入浴に満足の顔が

翌日午前中には、ベッドが搬入され、午後には訪問入浴が訪問しました。久しぶりに肩までつかって、太郎さんは「やっぱ、肩まで温まると気持ちがいいわ」とおっしゃっていました。奥さんもベッドがあることで介護が大分楽になったと話しておられます。

大社太郎さんの気持ちの変化とサービスの開始時期

健康になりたい	お風呂に入りたい	孫の応援に行きたい
訪問看護の開始 ↓ ベッド(福祉用具)の開始	訪問入浴の開始 ↓ 訪問入浴の中止 デイサービスの開始	訪問リハビリの開始 ↓ 訪問リハビリの中止 デイケアの開始
快食快便である	通所系で入浴	足腰もしっかりしてきた

自宅でリハビリが出来た!

リハビリを行なう為にB訪問リハビリ事業所から理学療法士がリハビリの指導に訪問しました。まずは、ベッドに座ることから始まりました。理学療法士の先生が訪問しない日もリハビリが出来るように毎日のリハビリメニューを作成頂き、奥さんと一緒に頑張ってみるとおっしゃっていました。訪問看護も訪問時にはリハビリを行いました。そうした状況が数ヶ月続き、ベッドに座ることから、手すりをつかまりながらトイレにいけるとここまで回復されました。

訪問系から通所系へ(まずは見学から)

スタッフが訪問すると孫の啓太君の話がよく出てきます。部活動の大会も近くなりとても気になるようです。外へ出てみたいという気持ちも強まってきたので、デイケアへ誘ってみました。まずは、ケアマネジャーと奥さんと3人で見学に出かけました。施設をいくつか見学し、訪問リハビリのスタッフの勤務するB施設に決められました。まずは週1回からスタートです。最初は、前日に奥さんに「おら、いっただかや…」と少々不安げな様子でしたが、帰られた時には「リハビリの先生ものぞいてございて、風呂もゆっくり入れたし…」と喜んでいらっしゃいました。ご本人もだんだんと意欲が出てもっと参加したいという気持ちが強くなり、近くの施設を希望され、いなさ園デイサービスへも参加されました。帰って早々「〇〇も来とったわ、来週は大祭礼にいくとや」などと積極的になっておられました。デイケア、デイサービスも週2回となり、訪問リハビリと訪問入浴はこの時点で終了しました。



こうして訪問看護週1回、デイケア週2回、デイサービス週1回を利用されるようになり生活にも活気が出てきました。この夏は孫の啓太君の部活動の大会に応援に行ってみようかと意気込んでおられるこの頃です。

小さなことでもまずは相談を

奥さんは振り返って「最初、明日は元気になるとそれを願いながら毎日を過ごしていましたが、私が介護でいたしくなり、息子たちに相談していなさ園に電話しました。あそこで、電話してよかったですわ。悩んでなくてまずは電話して相談することだと思いましたわ。」と感想を述べておられました。皆様もどうぞお気軽にご相談ください。

いなさ園 (53-5727)
みせんの里 (53-2007)

平成20年度 社会福祉法人きづき会決算報告

平成20年度社会福祉法人きづき会の決算状況について社会福祉法により公表いたします。

